NEW-NEW TOWN プロジェクト

- 郊外住宅地の新しい住まい方を考える-

いとなみ班

まちあるき班

すまい班

かつてのニュータウンが再び活気を取り戻すためには

【背景・目的】郊外住宅地がベッドタウンから、いつも活気のある豊かな「ニュータウン」へと進化していくようなまちづくり活動を、地域のまちづくり拠点(みなまきラボ)と連携して行っている。今年度は、①いとなみ班・②にまちあるき班・③すまい班の3班に分かれて活動した。

【活動内容の概要】① 相鉄ロックオンミュージック開催時に、万騎が原商店街でまきがはらデザインピクニックを開催。商店街を活性化させるには何が必要かを考え、イベントを考案、実施した。それに伴い、事前に万騎が原地区などの調査、商店街の人々へのヒアリング、地域で活動している方の話を伺うなどの活動をし、イベント開催の参考にした。② 南万騎が原駅周辺を歩き地域の住民が歩いてくれるようなコースを考える活動をした。また、STGKさんと協力し、地域の方とまちあるきをするイベントを行った。その成果として、まちあるきマップとそのコース周辺にある公園の遊具、ベンチ、トイレ、時計等の情報をまとめた冊子を作った。③ まず地域の方がどのような生活を望んでいるかを知りたく、地域活性のアイデアカードを作成し、地域の方が実現して欲しい案に投票してもらった。200票以上の結果、カフェの街を作る案が票を集めた。今いくつかあるカフェをSNSやイベントなどで告知してもらう活動を行い、地域のコミュニティーとなる場所を作る提案をした。

【今後の可能性】① 地域の方からのアンケート、ヒアリングを参考に、今回の事例のような場所で何が求められているかを考える。② 今回作成したマップを拡張して、多くの地域の方が楽しめるマップの作成を考える。③ コミュニティーの役割を担うカフェが充実することで、カフェが入り込むような生活を作ることを目指す。

■学生：23名（井原賢士、小川明穂、五十嵐大地、狩野翔、杉山和久、 正林泰誠、沼澤奈々穂、 アズハリ健士朗、天野智也、 有森匠、今村澪、岡崎礼佳、尾張春佳、小林芽衣、坂本真理奈、佐藤美那子、関根佐和子、野角真穂、早瀬由衣加、樋口紗也、水上琢磨、森慧悟、湯川歩 / 担当教員：野原 卓
■連携・協力：みなまきラボ運営委員会（相鉄グループ、横浜市、横浜国立大学、オンデザインパートナーズほか）、オンデザインパートナーズ、STGK（スタジオゲンクマガイ）
■サイト：http://minamakilab.yokohama/